医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

医療法人財団
友朋会
YUHOKAI

風だより

2025.12
VOL.113

友朋会理念『患者さんのために』



精神科デイケアスタッフの皆さん

contents

2 ロゴマーク紹介
3 第25回アートセラピー美術館祭～ YUHOKAI Open Day ～
4 朋寿苑だより
5 第52回西日本芸術療法学会参加報告
6 百歳のお祝い／日本精神科病院協会永年勤続表彰
7 令和7年度盆踊り委員会活動／㈲三友商事様より椅子の寄贈／ New Dr.の紹介
8 友朋会指針・外来予定表

医療法人財団

友朋会

YUHOKAI

医療法人財団友朋会は2025年に60周年を迎え、ロゴマークを変更しました

デザインして頂いた 株式会社ヨシイ・デザインワークス のコンセプト

友朋会の「Y」と漢字の「人」を重ね合わせ、加えて友朋会の「朋（HO）」の「H」を造形化し、“人の幸せ”を基軸に事業展開を行われている友朋会の“らしさ”を表現しました。また、円形を付加することで擬人化させ、気持ちよさそうに伸び伸びと身体を伸ばす姿をイメージ、患者さんが快方に向かう姿、職員のやりがいを伸ばす環境、そして友朋会が未来に向けて大きく飛躍されるよう願いを込めました。温もりや優しさが感じられるラフな曲線で構成されたデザインで、色彩は豊かな自然に囲まれた立地環境を表す緑と青の深いグラデーションを基本に、黄色やピンクで希望や光、未来を感じさせ、友朋会に関わる人々が輝く姿を表現しています。グラデーションを用いることで60周年を迎えられる友朋会の仕事領域の深さや心のひだを表現いたしました。



第25回 アートセラピー美術館祭

友朋会の恒例行事となった「アートセラピー美術館祭」を、10/25（土）に開催いたしました！
第25回目となる今回のテーマは、「YUHOKAI Open Day」…
アートセラピーの体験だけでなく、友朋会の環境、施設、
取り組みなどを広く知っていただこう…との趣旨で企画しています。
今年は看護学生さんを中心に、37名が参加されました。

～YUHOKAI Open Day～を開催しました

第25回アートセラピー美術館祭運営委員長　眞木理（臨床心理科）

午前中はアートセラピー美術館の見学と、5種目（陶芸、絵画、音楽、ものづくり、コラージュ）のアートセラピー体験ワークショップが行われました。ワークショップは、芸術療法科、作業療法科、臨床心理科が、これまで積み重ねてきた知識と経験を活かした内容です。参加者の皆さんも種目によっては賑やかに、また別の種目では静かな雰囲気で、それぞれの体験を楽しまれていたようでした。







そしてお昼には、日清医療食品さんと栄養管理科が腕を振るって用意した豪華ビュッフェです。毎年のことながら、この時の参加者の皆さんの笑顔はとても印象的です。お食事を楽しんでいただきながら、開催したワークショップの紹介、理事長からのアートセラピーについての小講義なども行われ、充実した時間になりました。







最後に行ったのは分科会です。学生さんの専攻ごとにグループに分かれ、看護部、リハビリテーション科それぞれのスタッフから、友朋会での仕事ぶりや職場環境などをご紹介しました。学生さんからも色々なお話を聞くことができ、たくさんの交流を持つことができました。





限られた時間ではありましたが、このような盛りだくさんの内容で開催することができ、また何より、参加者の皆さんが楽しんで参加されているご様子を見ることができて、とても嬉しく感じます。これからも「アートセラピー美術館祭」が皆さんにとって実り多い行事になるように、そして友朋会を多くの方に知っていただけるように、より良い美術館祭を作っていきたいと思います。

Hojuen News

介護老人保健施設　朋寿苑

TEL 0954-42-2900・FAX 0954-42-2907



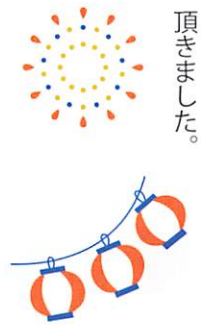
医療法人財団 友朋会の介護老人保健施設 朋寿苑では、家庭的な雰囲気と利用者さまの個性尊重を第一に、きめ細かなケアプランにそった介護と多彩な生活機能訓練によって、家庭復帰を目指しています。
朋寿苑は、毎月様々な行事を開催しており、
ここでは令和7年7月・8月に開催しました七夕会・盆踊り会をご紹介します。

Hojuen News

入所部門

盆踊り会を開催しました！

盆踊り会ではクジ引きを行いました。様々なプレゼントを用意し当たったプレゼントを他の利用者さまと見せ合われたり、すぐに使われたりと大変喜んで頂けました。盆踊りは月夜のポンチャラリンと炭坑節を皆さま笑顔で踊り楽しく過ごして頂きました。





七夕会の飾りつけをしました！

七夕飾りでは、利用者さまに書いて頂いた短冊を付けました。今年は、「ウナギを食べたい」「ケーキを食べたい」「ステーキを食べたい」等の私たちもお腹が空くような願い事が多かったです。七夕の飾りつけを見て、皆さま「立派な竹やねぇ～」「きれかね～」と歓声が上がり喜ばれていました。皆さまの願い事が叶いますように。











Hojuen News

通所部門

盆踊り会に参加しました！

盆踊り会では初めに金魚すくいゲームを行いました。ポイの持ち手を握りやすいように改良し、すくいやすくなったことで夢中になって挑戦されている姿が見受けられました。恒例のスイカ割りでは、手ぬぐいで目隠しをし、周囲の利用者さまの「前々」「右、もっと右右」など声掛けや合図に合わせて棒を振り上げ、叩き下ろされていました。見事スイカに当たり割れると、歓声が上がっていました。

七夕会に参加しました！

七夕会では願い事や想いを短冊に書いていただき一緒に笹へ飾り付けを行いました。次に、七夕のクイズ。最後に「七夕さま」の合唱とトーンチャイムの演奏を行いました。トーンチャイムを初めて演奏する方が多く、練習して音が出せるようになると、何度も音の響きを確かめておられました。いざ本番では、緊張しながらも合唱に合わせてしっかりと演奏され、達成感のある笑顔が見られました。













music therapy

患者さんが安心して表現できる環境を整え支える芸術療法を実践していけるように



第52回 西日本芸術療法学会参加報告

芸術療法科　井手　絵里子

令和7年6月8日(日)にアクロス福岡にて第52回西日本芸術療法学会が開催されました。「コロナをはじめとする様々な要因で分断が進んでいるように感じられる世界で人々を再び繋いでいく力を芸術に期待できるのではないか」との思いが込められた大会テーマ『芸術療法と集団の力』の下で、研究発表、シンポジウムが行われました。

私は『嬉野温泉病院における音楽療法の取り組みー作業療法士との協働による集団療法についてー』という演題で発表を行いました。2017年の入職以来積み重ねてきた実践についてまとめると共に、最も近い協働者である作業療法士の皆さんにアンケートを実施し、分析を行いました。音楽療法の目的、強み、そして音楽療法士に対して求めることについて、非常に多くの意見をいただきました。これらの意見を踏まえて、今後も多くの患者さんにとってより安心して音楽表現ができる場所として、音楽療法環境を作っていければと考えています。

当日フロアからも活発な質問、意見が出ました。アンケートの回答数から協働している作業療法士の多さ、また協力に対して驚かれる感想であったり、実際の活動例や音楽療法士が休みの時はどうしているのか、等の具体的な質問もいただきました。現在音楽療法士の職域は多岐に渡りますが、保険医療領域での実践は20%程度とまだまだ少ない現状があります。常勤勤務は更に少なく、とても恵まれた環境の当院だからこそ実践できている音楽療法の紹介ができたのではないかと考えています。

芸術療法には多くの種類がありますが、今回の研究発表ではコラージュ、俳句、心理劇、プレイセラピー、陶芸、音楽についての発表がありました。中でも今回は心理劇についての発表が多くなされました。心理劇はMORENOにより創始された即興劇の方法を用いた集団心理療法の一つです。MORENOは人生の価値は創造性にあると述べています。心理劇は個人の自発性を刺激して創造性を引き出すのに有効な手段であり、人と関わる中で、その人がうまく行動できる手助けになり得ると考えられています。ただ、即興劇という手段を用いる為のルールを作るのが難しいので、それぞれの現場で工夫して取り入れていることを発表されていました。

昨今よく聞かれるようになった『多職種連携』とは、いろんな専門職がそれぞれの得意分野を活かしながら、同じ目標に向かって協力して働くことですが、その為には他の職種がどんな専門性を持っていて、何を大切にしているかを知ることが大事で、同時に自分の考えや情報もしっかり伝える必要があると思います。この考え方は、心理劇で即興的に役割を演じながら深いコミュニケーションをすることに少し似ている部分があるのでは、とおぼろに考えながら登壇者の発表を聞いていました。患者さんが安心して表現できる環境を整え支える芸術療法を実践していけるように、今後も研鑽を積んでいければ、と考えます。

Report on the 52nd West Japan Art Therapy Association

ご長寿のお祝い

ご長寿のお祝いで表敬訪問を受けました

令和7年9月9日に、百歳のお祝いで当会にいらっしゃる3名の方が、嬉野市長の表敬訪問を受けられました。皆さんには、村上嬉野市長から内閣総理大臣のお祝い状と記念品が、友朋会の中川理事長からはお祝い花が送られ、ご家族様やお知り合いの方とともに百歳をお祝いいたしました。友朋会職員一同、心よりお慶び申し上げます。今後もお元気でお過ごしください。



吉永ヤノ様



近藤ナト様



徳永芳子様

日本精神科病院協会 永年勤続表彰

早瀬雄一郎課長が公益社団法人日本精神科病院協会より、30余年の永年勤続に対して表彰されました。

早瀬課長は長年、看護師として従事され、嬉野温泉病院の病棟責任者を6年間、分院の「ものわすれメンタルクリニック(福岡市)」で20年間、主任・師長としてご活躍後、令和5年より、介護老人保健施設朋寿苑の事務課長としてご尽力いただいております。



令和7年度 盆踊り委員会活動について

例年、嬉野温泉病院では夏季に盆踊り大会を開催しています。盆踊り大会では、患者さんがスタッフと一緒にスイカ割りや体操をしたり、かき氷を食べて頂いたりしています。患者さんに少しでも季節感を感じて頂こうと行っている行事の1つです。今年度も、令和7年度盆踊り大会を開催いたしました。

新型コロナウイルスやインフルエンザが流行している中、これまで色々な行事ごとを控えざるを得ない状況でしたが、少しでも以前の活気ある流れに戻すことができたらと思い、今年度は嬉野高等学校の和太鼓部の皆さんを招いて、4部署で和太鼓を披露して頂きました。太鼓の音は非常に大きく、患者さんは目を大きくしてご覧になられていました。また、当院の面浮立クラブの皆さんも、本格的な衣装を身に纏い、多くの部署で面浮立を披露して頂きました。どちらも患者さんに大変喜んで頂けました。和太鼓や面浮立を見ていた患者さんの中には「良かった、良かったよ～」と涙を流し喜ばれる患者さんもいらっしゃり、委員会としても喜ばしい限りでした。

近年、感染症の影響でこれまで普通に行えていたことができなくなっています。しかし、今回の活動は患者さんだけでなく、スタッフにも活気を与える良いきっかけになり、こういう伝統のある活動を続ける事の大切さを改めて気付かされました。これからも感染症と向き合いながら、この思いを次世代に繋いでいけるように盆踊り委員会の活動を続けていけたらと思っています。



New Dr.

新しい医師のご紹介！

精神科医師　平方 秀典

本年度10月より当院に赴任しました平方秀典と申します。今年の9月末まで肥前精神医療センターに勤務しており、主に急性期病棟、認知症病棟を診ておりました。趣味はサッカー観戦で、今後は各地のスタジアムに足を運ぶことが目標です。ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう頑張ります。よろしくお願いします。



三友商事様より椅子の寄付

今年、創業50周年を迎えられる有限会社 三友商事様より創業記念として長椅子2脚を寄贈して頂きました。寄贈いただいた長椅子は西総合センター玄関口に設置し、大切に使わせて頂きます。

